

せいの看護学会 News Letter

Contents ◆理事長挨拶 ◆第9回せいの看護学会学術集会を終えて
◆学会の様子と総会報告

◆理事長挨拶

せいの看護学会理事長 藤本栄子



第9回せいの看護学会学術集会が鳥羽山睦子学術集会会長のもと、盛況のうちに終了できましたことは、企画委員・実行委員として運営に当たってくださった皆様、ならびに参加してくださった皆様方のお陰と心より感謝申し上げます。

『高めよう“ワーク・エンゲイジメント”ーポジティブシンキングでしなやかに生き活きとー』をメインテーマとして、鳥羽山氏は会長講演で、ポジティブシンキングの実践が人を元気にできることを、まさに腑に落ちるように伝えてくださいました。鳥津明人先生は基調講演で健康にいきいきと働くための重要な考え方として、ワーク・エンゲイジメントをわかりやすくご紹介くださいました。私は「いきいきと働いているだろうか」と思わず自分を振り返っておりました。さて、今回の学術集会は、鳥羽山氏が当初から言われていた「学術集会に参加して、とにかく楽しんで帰ってもらいたい」という思いが、プログラムだけでなく運営にも溢れていました。

事前の企画委員会では、参加者への配慮が行き届くように念入りな打ち合わせがなされました。また、初めての取組みとして、ランチョンセミナーやアイスブレイキング（笑いのエクササイズ）も取り入れられました。そして、学術集会当日は、企画委員・実行委員が円陣を組んで、鳥羽山学術集会会長の発声で、一斉に声をかけて始まりました。「頑張ろう！！」という感じのスタートで、委員の皆様が大変エネルギッシュに運営され楽しい学会となったのではないかと思います。

◆第9回せいの看護学会学術集会 大会長 鳥羽山睦子（聖隷福祉事業団保健事業部部長） 『高めよう“ワーク・エンゲイジメント” ポジティブシンキングでしなやかに生き活きと』



第9回せいの看護学会学術集会では、保健事業部の特徴として、大学・病院関係者以外にも企業の産業保健師や行政で働く保健師たちなどはじめての参加者もおり、せいの看護学会を知っていただける機会となりました。

【高めよう“ワーク・エンゲイジメント”ーポジティブシンキングでしなやかに生き活きとー】をテーマに、ストレス社会といわれる中においても、一人ひとりのストレス対応能力が高まり、健康にいきいきと働き続けられること事を目指し企画いたしました。ひとり一人が自身の認知、思考のクセに

気づくことができ、笑いのあるしなやかな折れない心を形成し、輝いて働き続けられるための知識とスキル、そして笑顔、元気、勇気という魔法の力を体験してほしいとプログラムを工夫しました。

最後に、この学会での学びが皆様の実践に応用され、笑いの多い生活といきいきと働き続けられることにつながることを心より願っております。

基調講演は、ワーク・エンゲイジメントの第一人者である鳥津先生からの貴重なご講演をいただきました。今回初めて設けました「ランチョンセミナー」は好評で、講演内容は睡眠と健康寿命とし、睡眠の重要性を伝えることができました。ワークショップでは、マイナス感情で受け取りがちなクレームをポジティブ思考で対応することで、業務改善につながることやケア・サービスの向上につながることを体験しました。アイスブレイキングでは、笑いのエクササイズを取り入れ会場内が笑いの渦となりました。大声で笑った皆さまの免疫力はかなりアップし、ストレスも遠のいたのではないのでしょうか。

一般演題は20題の応募があり、従来の研究報告とあわせて初めて実践報告も取り入れ発表していただきました。シンポジウムは、最もポジティブな座長のもと一人ひとりが輝く魅力ある職場について職場の管理者、産業医、レジリエンスを高めるための専門家それぞれの立場から熱い思いを聞かせていただきました。

大過なく終了できましたのもひとえに講師、座長の皆様、企業様のお力添えのおかげと感謝申し上げます。また、御寄附、展示、広告のご支援を頂きました多くの方々、準備にご尽力くださった企画委員や事務局、協力員に厚くお礼申し上げます。

最後に、この学会での学びが皆様の実践に応用され、笑いの多い生活といきいきと働き続けられることにつながることを心より願っております。

◆基調講演

島津明人氏（北里大学一般教育部人材科学教育センター教授）

『健康でいきいきと働くために：バーンアウトからワーク・エンゲイジメントへ』



ワーク・エンゲイジメントとは、熱意、没頭、活力の3つがそろった状況であり、それは仕事の資源（上司や同僚からの支援、仕事の裁量権、成長の機会など）や個人資源（自己効力感、自尊心など）が豊富なほど上昇することが明らかにされています。職場のメンタルヘルスの新しい鍵概念としてワーク・エンゲイジメント向上に向けたアプローチが望ましいといえるでしょう。

◆シンポジウム 『ポジティブメンタルヘルス

一人ひとりが輝く魅力ある職場へ』

座長内田明子氏 聖隷横浜病院看護部長

角井孝次氏(一般社団法人日本きらめき協会 代表理事)は、多様化時代だからこそレジリエンスを高めよう、ほめる、承認することを継続していこう。

内野明日香氏(聖隷健康診断センター 主任医長・産業医)は、女性が多い職場だからこそ女性ホルモンやがんと就労を考え、ポジティブに捉えて対人ストレスを緩和しよう。

糸賀小ゆり氏(聖隷三方原病院 看護課長)は、いつかできるという楽観的信頼をよせてスタッフと協働している、といった輝く職場づくりに参考になるお話をいただきました。



◆アイスブレイキング

笑いのエクササイズは参加者全員が立ち上がって楽しく踊り笑いました。学会史上初めての取り組みですね。



◆演題発表風景 (口演 8 演題、示説 12 演題)



◆総会報告 出席 19 名、委任状提出 83 名で総会が行われました。2017 年度会計収支決算および監査が審議され承認されました。2019 年度事業計画および予算が審議され承認されました。現在の会員数は 240 名、賛助会員は 10 団体と報告されました。

【企画委員】第 9 回せいい看護学会学術集会を 2018 年 9 月 8 日、アクトシティ浜松 研修交流センターにて開催し、各地から総数 172 名（会員 98 名、非会員 65 名、学生 9 名）の参加がありました。開催にあたり学会の準備等ご尽力頂きましたせいい看護学会藤本栄子理事長、学会企画委員を初めとした関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



◆学会誌編集委員会 投稿をお待ちしています。

◆広報委員会：せいい看護学会を広くお知らせするために NewsLettrNo2 を発行しました。

◆事務局から会費納入のお知らせ

年会費は 5000 円です。過去の納入がお済でない方は本年度分と合わせて納入をお願いします。入会希望の方はせいい看護学会ホームページをご参照ください。

<http://www.seirei-sons.com>

◆第 10 回学術集会のお知らせ 2019 年 9 月 14 日（土）

学術集会会長：藤本栄子（聖隷クリストファー大学 看護学部教授）

テーマ：『新たな看護の創出を求めてー看護のイノベーションー』

場 所：聖隷クリストファー大学

演題募集：2019 年 3 月 11 日（月）～2019 年 5 月 24 日（金）

http://www.seirei-sons.com/d10th_annai2.html

応募資格：せいい看護学会会員であること（非会員は演題応募までに入会をお願いします）